

中学校 美術

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**、**2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**、**2** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）及び「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）に関する内容について、次の（1）～（10）の問いに答えよ。

※中央教育審議会の内容については「第2部 各学校段階、各教科等における改訂の具体的な方向性」の「第2章 各教科・科目等の内容の見直し」の「8. 図画工作、美術、芸術（美術、工芸）」（以下、「答申」という）を引用している。

（1）「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第1 目標（3）」について、空欄【 】に入る内容について正しい語句はどれか。1～4から選べ。解答番号は

美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、【 】。

- 1 心豊かな生活について主体的に創造していく態度を養う
- 2 主体的に活動に取り組み、豊かな生活を創造していく態度を養う
- 3 美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、豊かな情操を培う
- 4 心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

（2）「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 2 内容 B 鑑賞（1）ア（ア）（イ）」では、鑑賞の活動を通して、身に付けさせる内容が記載されている。正しいものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 （ア）造形的な面白さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
（イ）目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げること。
- 2 （ア）造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
（イ）目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 3 （ア）造形的な面白さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げること。
（イ）目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、愛情を深めること。
- 4 （ア）造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げること。
（イ）使う目的や条件などを基に調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

- (3) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕
3 内容の取扱い (2)」について、欄【①】～【④】に入る正しい組合せはどれか。1～4
から一つ選べ。解答番号は

「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、【①】に関する資質・能力や【②】に
関する資質・能力を育成する観点から、〔【③】〕に示す事項を視点に、アイデアスケッチ
で構想を練ったり、言葉で考えを整理したりすることや、作品などについて説明し合うな
どして対象の見方や感じ方を広げるなどの【④】の充実を図ること。

	①	②	③	④
1	発想や構想	鑑賞	共通事項	言語活動
2	知識や技能	表現	内容の取扱い	創造活動
3	発想や構想	表現	共通事項	創造活動
4	知識や技能	鑑賞	内容の取扱い	言語活動

- (4) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び
第3学年〕 1 目標 (3)」について、空欄【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から
一つ選べ。解答番号は

主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、【 】を深め、心豊かな生活を
創造していく態度を養う。

- 1 美術を愛好する心情
- 2 美的感覚
- 3 見方や感じ方を広げる感性
- 4 美術文化の知識

- (5) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び
第3学年〕 2 内容 B 鑑賞 (1) イ (ア)」について、空欄【 】に入る正しい語句は
どれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、【 】から生活や社会を美しく
豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

- 1 伝統や文化のよさや美しさ
- 2 国際理解や美術文化の継承
- 3 受け継がれてきた表現の特質
- 4 安らぎや自然との共生などの視点

(6)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(4)」(一部抜粋)について、空欄【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

第2の各学年の内容の「A表現」については、(1)のア及びイと、(2)は原則として関連付けて行い、(1)のア及びイそれぞれにおいて【 】のいずれも経験させるようにすること。

- 1 デザインと工芸
- 2 描く活動とつくる活動
- 3 絵画とデザイン
- 4 表現活動と鑑賞活動

(7)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(1)」では、〔共通事項〕の指導に当たっての配慮事項が示されている。その内容について、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

A 形や色彩などの組合せによる構成の美しさを捉えること。
 B 形や色彩、材料、光などから感じる優しさや楽しさ、寂しさなどを捉えること。
 C 材料や質感など題材の特徴を効果的に表現し捉えること。
 D 余白や空間の効果、立体感や遠近感、量感や動勢などを捉えること。

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | ○ | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |

(8)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(6)」について、欄【①】【②】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

各学年の「B鑑賞」の題材については、国内外の児童生徒の作品、我が国を含むアジアの文化遺産についても取り上げるとともに、【 ① 】等と連携を図ったり、それらの施設や【 ② 】などを積極的に活用したりするようにすること。

- | | ① | ② |
|---|---------|------|
| 1 | 美術館や図書館 | 地域資源 |
| 2 | 図書館や公民館 | 文化財 |
| 3 | 美術館や博物館 | 文化財 |
| 4 | 美術館や企業 | 地域資源 |

- (9) 「答申」の「(1) 現行学習指導要領の成果と課題を踏まえた図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の目標の在り方 ②課題を踏まえた図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の目標の在り方」について、欄【①】【②】に入る正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 芸術系教科・科目における「知識」については、一人一人が感性などを働かせて様々なことを感じ取りながら考え、自分なりに理解し、表現したり鑑賞したりする喜びにつながっていくものであることが重要である。知識が、体を動かす活動なども含むような学習過程を通じて、【①】概念として習得されることや、新たな学習過程を経験することを通じて更新されていくことが重要である。
- また、芸術系教科・科目における「技能」についても、一定の手順や段階を追って身に付く個別の技能のみならず、変化する状況や【②】技能として習熟・熟達していくということが重要である。

①

②

- | | | |
|---|----------------------|----------------------|
| 1 | 美術文化に関心を持って、生きて働く | 伝統や文化に向き合い総合的に活用できる |
| 2 | 技能と一体となって主体的に働く | 環境に応じて創造的に表わす |
| 3 | 生涯にわたり主体的に働く | 生活や社会のつながりを考え創造的に表わす |
| 4 | 個別の感じ方や考え方等に応じ、生きて働く | 課題に応じて主体的に活用できる |

- (10) 「答申」の「(1) 現行学習指導要領の成果と課題を踏まえた図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）の目標の在り方 ③図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における「見方・考え方」について、欄【①】～【⑤】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

- こうした芸術系教科・科目の「見方・考え方」の特徴は、知性と感性の両方を働かせて対象や事象を捉えることである。知性だけでは捉えられないことを、【①】を通して、知性と感性を融合させながら捉えていくことが、他教科等以上に芸術系教科・科目が担っている学びである。また、【②】の重視による【③】の包容、多様な価値を認める柔軟な発想や【④】、自己表現とともに自己を形成していくこと、自分の感情の【⑤】なども含まれており、そこにも、芸術系教科・科目を学ぶ意義や必要性がある。

- | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|----|-----|-----|--------|-------|
| 1 | 心情 | 多様性 | 独創性 | 豊かな構想 | 抑制と表出 |
| 2 | 身体 | 個別性 | 多様性 | 他者との協働 | メタ認知 |
| 3 | 心情 | 個別性 | 多様性 | 造形的視点 | 受動的な面 |
| 4 | 身体 | 多様性 | 独創性 | 美的感覚 | 一体化 |

2 (1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 絵画等の表現技法について、次の①～③の問いに答えよ。

① 次のそれぞれの [] に示された「絵画等の表現技法」A～Eと、その「制作方法」あ～おの正しい組み合わせとして、最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は [11]

「絵画等の表現技法」

A バチック	B スパッターリング	C デカルコマニー
D ドリッピング	E にじみ・たらし込み	

「制作方法」

あ	水をたっぷり含んだ絵の具を使い、一色で用紙に面をつくり、それが乾かないうちにほかの色を隣接させたり、中に落としたりしてつくる。
い	はじめにろうやニス・クレヨンなどで図柄をかき、その上から水でといた水彩絵の具で彩色する。
う	金網に絵の具をつけたブラシをこすりつけると、絵の具がはじかれ霧状となって紙面につく。型紙を置いたりして表現の工夫をする。
え	用紙を二つ折りにして絵の具をはさんだり、ガラスや吸水性の低い紙などに絵の具をたらし、上から用紙を押し当てたりしてつくる。
お	紙の上に絵の具をたっぷり落とし、紙面を傾けたり、直接口で吹いたりストローを使って吹いたりして図柄をつくる。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | A-え | B-う | C-あ | D-お | E-い |
| 2 | A-い | B-う | C-え | D-お | E-あ |
| 3 | A-う | B-お | C-え | D-い | E-あ |
| 4 | A-い | B-お | C-あ | D-う | E-え |

② 作品A「形状N0.16」は、コラージュやフロタージュ等の表現技法を用いた作品である。この作者は誰か。1～4から一つ選べ。解答番号は [12]

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | サルヴァドール・ダリ | 2 | ジョルジョ・デ・キリコ |
| 3 | マックス・エルンスト | 4 | ルネ・マグリット |

③ 作品B「マルセイユ港の入り口」は、点描の表現技法を用いた作品である。この作者は誰か。1～4から一つ選べ。解答番号は [13]

- | | | | |
|---|------------|---|-----------|
| 1 | ポール・シニャック | 2 | アンドレ・ドラク |
| 3 | ジョルジュ・ブラック | 4 | ジョルジュ・スーラ |

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

「形状NO.16」
マックス・エルンスト
マヌエル・デ・ムガ・コレクション蔵

作品A

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

「マルセイユ港の入り口」
ポール・シニャック
オルセー美術館蔵

作品B

(2) 水墨画等について、次の①～③の問いに答えよ。

- ① 平安・鎌倉時代に描かれた鳥、人物、人の滑稽で楽しい物語の作品で、漫画の原型がみられるものとして有名である。作品名として、最も適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 北斎漫画 2 鳥獣人物戯画
3 石山寺縁起絵巻 4 百鬼夜行絵巻

- ② 作品C「破墨山水図」(一部拡大)の作者は誰か。

1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 宮本武蔵 2 横山大観
3 曾我蕭白 4 雪舟

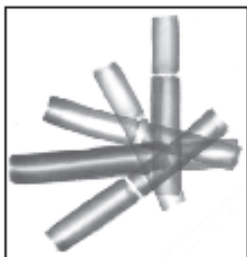
著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

「破墨山水図」
雪舟
東京国立博物館蔵

作品C

- ③ 水墨画の技法「先隈」の表現として、最も適切なものはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は



1



2



3



4

(3) 著作権法（昭和四十五年法律第四十八号）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 第五十一条（平成28年法律第108号「TPP整備法」により改正）では、「著作権は、この節に別段の定めがある場合を除き、著作者の死後（共同著作物にあつては、最終に死亡した著作者の死後。次条第一項において同じ。）【 】年を経過するまでの間、存続する。」とある。【 】に入る最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 三十 2 五十
3 七十 4 百

② 次の事柄について適切でないものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 ウェブ上に違法にアップロードされた音楽や映像を違法と知りながらダウンロードする行為については、私的使用目的の複製の範囲外とされている。
- 2 教育を担当する者及び授業を受ける者は、その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には、必要と認められる限度において、公表された著作物を複製することができる。
- 3 放送番組をビデオ撮りして授業に使用するのには、自由利用の要件を満たしていればさしつかえない。
- 4 授業の過程における使用とみなされない学級通信や学校便り、学校ホームページにおいても、公表された著作物を複製することが認められている。

3 次の作品A～Cは富士山に関連したものである。(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 作品Aについて、①、②の問いに答えよ。

① 作者名を答えよ。

② この作品は、平成25年6月に世界文化遺産に登録された場所が題材となっている。その場所を次のア～ウより一つ選び、記号で答えよ。

- ア 江の島
イ 三保松原
ウ 七里ヶ浜

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

富士三十六景「駿河三保之松原」
歌川広重
町田市立国際版画美術館

作品A

(2) 作品Bについて対話型の鑑賞授業を実施し、その後、改めて作品Bの表現の特徴を生徒に説明する。どのように生徒に説明するか、作者がどのような情景を捉えて表現したかを、観点①、②に触れて簡潔に答えよ。

観点① 「季節」

観点② 「時間帯」

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

富嶽三十六景「凱風快晴」
葛飾北斎
島根県立美術館

作品B

(3) 19世紀後半の西欧において、日本美術の影響を受けた「ジャポニスム」が流行した。作品Cにもその影響が見られるが、作者は日本美術のどのようところに影響を受けたか、簡潔に答えよ。

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

「タンギー爺さん」
ファン・ゴッホ
ロダン美術館

作品C

- 4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容」について、「A 表現（1）ア（ア）」の事項を身に付けることができるよう「B鑑賞（1）イ（イ）」との関連を図った8時間の指導計画を作成する。（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「題材設定の理由」を次のように設定した。「題材名」及び、「題材の目標」を記せ。

題材設定の理由	<p>中学校学習指導要領〔第1学年〕のA表現（1）ア（ア）では、生徒が、対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができるよう指導することが求められている。</p> <p>生徒は、美術の鑑賞や作品制作に意欲的に取組もうとしているが、想像したことなどを基に主題を生み出す際に、正解を求めすぎ、周りの生徒の反応が気になるあまり、自分の想像したことなどから主題を生み出すことが難しい生徒が多い。</p> <p>本題材では、B鑑賞との関連を図り、「ジャポニスム」を取り上げるとともに、主体的、対話的な活動を取り入れ、自己の主題を深め、アイデアスケッチや言葉で発想や構想をしたことを整理する活動を取り入れ、一人ひとりが主題を生み出し、心豊かに表現する構想を練ることができるようにしたい。</p>
---------	---

- （2）（1）「題材設定の理由」を踏まえた指導と評価の計画を次のように作成する。①では、生徒が題材に魅力を感じ、造形的な見方・考え方を働かせて主体的に主題を生成できるようにしたい。①における第1時～第2時の「学習のねらいおよび学習活動」を解答用紙に記せ。なお、第3時～第7時の「学習活動および内容とのつながり」も重視すること。「○」は、学習のねらい「・」は、学習活動として記せ。

時	活動内容	学習のねらいおよび学習活動 「○」は、学習のねらい「・」は、学習活動として記せ。
第1時 ） 第2時	課題の把握と発想・構想	①
第3時 ） 第7時	制作	○構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・①の内容を基に、自分の表現意図に合う表現方法を工夫して制作する。 ○表現を深める ・発想をさらに豊かなものにし、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。
第8時	鑑賞	○作品鑑賞 ・他者の作品から、作者の心情や意図と創造的な工夫などを感じ取る。

- （3）①の活動中において、意欲はあるが、主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることが難しい生徒がいる。その生徒への指導方法の工夫を記せ。

